

2019年11月6日

各位

株式会社ドーン

映像通報システム「Live119」の試行運用を神戸市消防局管内の 119 番通報で実施

株式会社ドーン(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:宮崎正伸)は、神戸市消防局と連携し、 119番通報の際にスマートフォンによるビデオ通話を行うシステム「Live119」の試行運用を、実際の 119番通報に おいて実施します。

1 神戸市消防局における試行運用の概要

(1)期間

2019年11月9日から2020年3月31日まで

(去る 2019 年 9 月 1 日から実施している局内における映像送受信等の実証実験を経て、このたび実際の 119 番通報における試行運用を開始します)

(2) 内容

神戸市消防局の管轄区域内における実際の 119 番通報の際に、消防管制室と通報者との間で、このシステムを使った通話を行う試行運用を実施し、その効果や問題点等の抽出を行い、神戸市消防局におけるシステム導入の検討を進めるもの

(3)目的

通報現場の視覚的な情報をリアルタイムに収集することができる映像通報システムを活用することで、消防 管制室において「通報の可視化」を実現し、消防救急活動上の課題の解決を図るもの

(4) 現状と課題

119 番通報の際、消防管制室は、通報者から通報現場の状況(事故・火災や傷病の様子)を聴き取ることで、出動する消防部隊の選別等を行っているが、音声(電話による 119 番通報)のみでの情報把握に限界があり、救急事案の例では、呼吸があるとの情報だが実際には心肺停止であったケースや、心肺蘇生法の口頭指導を行う際に有効な胸骨圧迫がなされているかの確認が難しいケースがある。また、電話の発信場所は通報受信機関に通知されるが、広い区域でしか特定されず正確な場所把握が難しい場合もある。他方で、119 番通報にスマートフォンが多く使われている(2018 年における神戸市消防局管内の 119 番通報の件数は、スマートフォン等の携帯電話によるものが 6 万 5,529 件で、通報全体の 50.7%を占めている)ことから、スマートフォンによるビデオ通話を活用した「通報の可視化」の仕組みに実効性が期待される。

2 「Live119 lとは

「Live119」は、当社が開発を進めている消防機関向け映像通報システムであり、119番の通報者がスマートフォンによるビデオ通話を行い、通報現場の状況を撮影し消防に伝送するシステムです(※)。

消防管制室は、通報者が撮影する映像から通報現場の詳しい状況(事故・火災や傷病の様子)を確認し、 音声による 119 番通報だけでは把握が難しい視覚的な情報をリアルタイムに収集することができ、救急事案等の 際に通報者への効果的な口頭指導を支援します。

このシステムの利用は、消防管制室が必要に応じて通報者に依頼し、119番通報の発信元電話番号宛に案内されるウェブサイトを通報者が表示することでビデオ通話が開始される方式を採用しています。専用アプリを事前にダウンロードする必要がなく、一般市民にとって心理的な余裕がない緊急通報の際にも簡単な操作で利用できるよう配慮しているため、多くの事案に活用されることが期待できます。

Live119 の利用イメージ



消防が通報者にビデオ通話を依頼

通報者がウェブサイトにアクセス

ビデオ通話を開始

※ 当社報道発表(2019年4月22日付):消防機関向け映像通報システム「Live119」をリリース (http://contents.xj-storage.jp/xcontents/23030/f0a3c9b4/115f/4dcd/8051/9ac99bc7ca8e/1 40120190419407269.pdf)

3 経緯と今後の展望

近年、行政の災害対応における現場情報の迅速かつ正確な収集が課題となっており、映像伝送による情報 共有ツールへの期待が高まっています。当社は、これまで消防救急をはじめとする防災分野の情報共有を支援する様々なシステムを提供しており、その技術やノウハウを活用することで、緊急通報におけるリアルタイムな映像伝送の仕組みを実現しました。

また、今後の 5G 時代を見据え、広く行政の災害対応における映像伝送に応用することも想定しており、同技術がさまざまなシーンで市民の安全確保に役立つことが期待されます。

当社は今後も、様々な空間情報技術を活用した新しいサービスの展開を積極的に進め、安心安全な社会の実現に貢献してまいります。

以上

<ご参考>株式会社ドーンについて

地理情報システム(GIS)を構築するための基本ソフトウェアやGIS関連システムの開発・販売を事業の柱とし、近年は防災・防犯分野で使われる空間情報技術を提供するクラウドサービスに注力しています。

<問い合わせ先>

株式会社ドーン管理部 IR 担当